

## 長崎大学全学同窓会会則を一部改正しました

長崎大学全学同窓会に新たに幹事会を設置して、全学同窓会と学部等同窓会との連絡調整を緊密にすることにより全学同窓会の活動を円滑に推進すること、及び全学同窓会の役員に評議員及び幹事を新たに加えることにより全学同窓会の運営体制を充実させるために、平成21年11月21日(土)に開催されました第6回長崎大学全学同窓会評議員会で会則の一部改正が審議され承認されました。



### 長崎大学全学同窓会会則

第1章 総 則
(名称)
第1条 本会は、長崎大学全学同窓会と称する。
(目的)
第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、併せて母校との連絡を緊密にし、もって長崎大学の発展に貢献することを目的とする。
(事業)
第3条 本会は、前条の目的を達成するため、懇親会、講演会等の開催その他の事業を行う。
第2章 会 員
(会員)
第4条 本会は、長崎大学の学部等の卒業生等が加入する学部等同窓会をもって会員とする。
第3章 役員等
(役員)
第5条 本会に次の役員を置く。
(1)会長 (2)副会長1人 (3)評議員 (4)代表幹事1人 (5)会計監事1人 (会員等の選任)
第6条 会長、副会長、代表幹事及び会計監事は、第12条に規定する評議員会において選任する。
2 評議員は、各学部等同窓会の会長をもって充てる。
(役員の任命)
会長は、本会を代表し、会務を総理する。
2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
3 評議員は、第12条に規定する評議員会を構成し、重要事項を審議する。
4 代表幹事は、会務の執行を統括し、事務局を統括する。
5 会計監事は、本会の会計を監査する。
(役員の任期)
役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
2 役員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

### 役員及び幹事

#### 全学同窓会役員

(任期2年:平成21年4月1日～平成23年3月31日)
○会 長／井石 哲哉／長崎医学同窓会会长(医学部)
○副 会 長／宮脇 雅俊／社団法人瓊林会会长(経済学部)
○会計監事／小川 大天／社団法人長崎大学玉園同窓会会长(教育学部)
(任期2年:平成21年11月21日～平成23年3月31日)
○役 員／渋谷 昌史／歯学部同窓会会长(歯学部)
○役 員／伊豫屋偉夫／長葉同窓会会长(葉学部)
○役 員／森岡 直人／工学部同窓会会长(工学部)
○役 員／吉田 瞳／緑友会会长(環境科学部)
○役 員／秦 章男／鶴水会会长(水産学部)
○役 員／中富 昌夫／熱研同窓会会长(熱帯医学研究所)
※代表幹事は、井石哲哉会長が兼務(平成21年11月21日～平成23年3月31日)

#### 全学同窓会名誉会長

(発令:平成21年6月12日)
○名誉会長／片峰 茂／長崎大学長

#### 編集後記

本号は第1回長崎大学ホームカミングデーを特集しました。次回は長大祭期間【平成22年11月19日(金)～21日(日)の3日間】のうちの平成22年11月20日(土)に開催予定であることが第6回幹事会(平成22年2月8日(月)開催)で決定され、今後評議員会に提案し審議されることになります。ホームカミングデーには多くの同窓生はじめ家族の方々の御参加を期待します。

#### 長大同窓(チョウダイドウソウ)に誌面リニューアル!

全学同窓会の広報誌「長崎大学全学同窓会広報」を「長大同窓」に表題を改め、文面を縦書きから横書きとし、読みやすい、親しみやすい、分かりやすい内容にリニューアルしました。紙面に関し皆様方からの忌憚のない御意見等をお待ちしております。

○全学同窓会ホームページは「長崎大学ホームページ」⇒「同窓会へのリンク」又は「卒業生の皆さまへ」から聞くことができます。

#### 長崎大学全学同窓会支援室

第3号 2010(平成22)年 2月発行

住 所／〒852-8521 長崎市文教町1-14  
T E L／(095) 819-2154  
F A X／(095) 819-2024  
E-mail／zendousou@ml.nagasaki-u.ac.jp  
U R L／http://www.nagasaki-u.ac.jp/

長崎大学 検索

# CHODAI DOOOOSO

長大同窓

Newsletter 【長大同窓: チョウダイドウソウ】

平成22年  
2010.02  
VOL.3

## 特集 第1回長崎大学ホームカミングデーを開催!



歓迎の辞 片峰 茂 学長



全学同窓会 井石 哲哉 会長

長崎大学として初めての「第1回長崎大学ホームカミングデー」が2009年(平成21年)11月21日(土)に開催されました。当日は「長大祭」が11月20日(金)～22日(日)の3日間文教キャンパスを主会場として開催されており、その賑やかな祭りの期間中に日程を合わせ同窓生約200人と教職員の参加で盛り上りました。ホームカミングデーとは卒業生の皆様に母校長崎大学に帰ってきてもらい、大学の近況に触れ、懐かしい恩師や学友との再会と交流・親睦を深めていただくために、大学が卒業生の皆様をお招きするものです。

第1回長崎大学ホームカミングデーは、長崎大学と長崎大学全学同窓会との共催、長崎大学学園祭運営委員会の協力で行われ、長崎大学長から長崎大学卒業生への御案内と、長崎大学全学同窓会会长から各学部等同窓会会員への協力依頼が各学部等同窓会を通じて行われました。当日は、ホームカミングデーに先立ち13時00分から長崎大学全学同窓会評議員会が事務局第一会議室で開催された後、14時00分から中部講堂において吹奏楽部による篠姫、天地人のメドレーによるオープニング演奏で開会しました。

演奏後、片峰茂学長から、「国立大学は法人化されて従来の“知の集合体”から眞の意味での“知の共同体”へと生まれ変わりました。本学も育成すべき人材像、学生と教職員が共有できる理念が必要であり、学長就任時に『志を高く持ち眼の輝いた闘気』にあふれた学生が集う大学、世界に突出する大学、個性の際立つ地方総合大学』を目指すことを提案しました。地方総合大学は地方分権の先導役として高度職業人材の育成と供給をしなければならないし、知を世界に発信しなければなりません。本学にとって最も力強い応援団は同窓生の皆様方であり、今後は本学の有り様に気をかけて頂き、後輩の頑張りに声をかけて頂きたい。」と、挨拶がありました。井石哲哉全学同窓会会长から、全学同窓会が設立された経緯、全学同窓会の意義と長崎大学への今後の御支援についての挨拶がありました。続いて、本学が自主的に製作した大学紹介DVD「世界へ発信!知の拠点」の上映があり、チアリーディング部による華麗かつエキサイティングな演技が引き続き行われ会場は満場の拍手に沸きかえりました。



キャンパスツアー

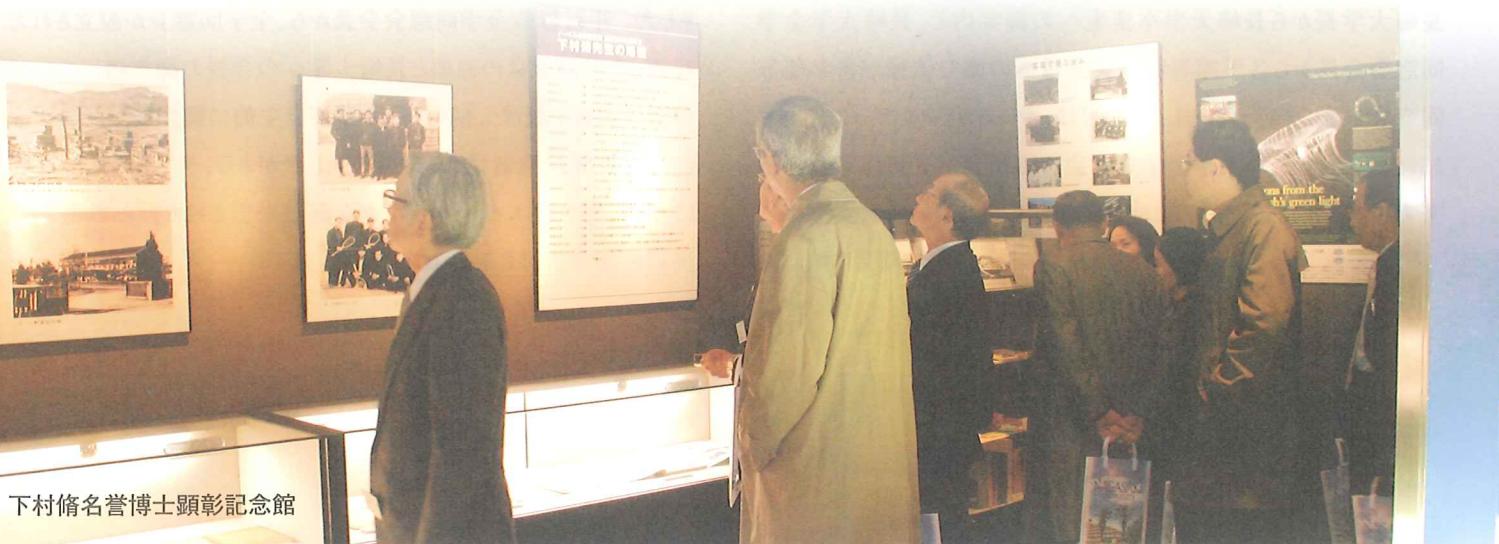
パーティー開会挨拶  
伊豫屋偉夫長葉同窓会会长パーティー閉会挨拶  
小川大天長崎大学玉園同窓会会长講演会【第1部】日本放送協会長崎放送局長 合田 敏行 氏  
講演会【第2部】長崎大学熱帯医学研究所教授 有吉 紅也 氏

パーティー会場での懇談

続いて行われた講演会では、【第1部】が「大河ドラマ『龍馬伝』について」と題して日本放送協会(NHK)長崎放送局長の合田敏行氏にお話頂きました。【第2部】は「長崎を日本と熱帯地の架け橋に」と題して熱帯医学研究所教授の有吉紅也氏にお話頂きました。

その後、文教キャンパス内のキャンパスツアーが行われ、2008年(平成20年)12月に本学の卒業生である下村脩先生がノーベル化学賞を受賞されたことを顕彰するために設置された「下村脩名誉博士顕彰記念館」(薬学部柏葉会館内)まで本学学生の案内によりキャンパス内を歩き、同記念館館長である大学院医歯薬学総合研究科・黒田直敬教授の説明により見学しました。

ホームカミングデー・パーティーは学生会館2階食堂において17時10分から開会され、同窓生約160人と教職員が参加して賑やかに学部



下村脩名誉博士顕彰記念館

## 学生メッセージ

## ホームカミングデーに参加した学生サークルから一言

学園祭運営委員会委員長 松岡 弘樹(環境科学部3年)



先日は長大祭にわざわざ足をお運び頂き有難うございました。運営側も自覚していることではあります、近年の長大祭は現役生が内輪だけで楽しむ傾向が強く、大学OBの方や近隣住民の方が参加される機会が少ないものでした。そのような中でホームカミングデーというイベントを通し、OBの方々が長大祭に足を運ぶ機会が出来ましたことは、長崎大学と長大祭をより発展させる契機となったことだと思います。これを機に、現役長大生はOBの方々に

も楽しんでいただける長大祭を目指し、その上でOBの方々とのコミュニケーションを持ち、皆様にも今まで以上に長大祭に関心を持っていただければと思います。最後になりましたが、長大祭に参加頂きましたOBの皆様、OBの方々と現役生が関わるホームカミングデーという機会を設けて頂いた全学同窓会の皆様、長大祭を開催するにあたって御協力を賜りました皆様に、厚く御礼申し上げます。有難うございました。

吹奏楽部 部長 宮本 絹理  
(工学部3年)

今日は私たち吹奏楽部に演奏の機会をえて頂き有難うございました。

私たち吹奏楽部は例年、3、4年生のみで長大祭特設ステージにて演奏を行っています。ホームカミングデーにおける演奏では次に特設ステージの演奏が控えているということで3年生のみの懐ただしい演奏になってしまった、と反省しております。

今回初めてということで問題もいくつかありました。例えば、移動経路については毎年長大祭テントの位置が変わるとと思うので、その中で人数や運搬回数を考慮した移動経路の確立が必要だと思います。これから第2回、第3回とよりよいイベントになることを期待しています。よろしければ当方としてもOBの皆様に聴いていただいた感想がわかると今後の参考になります。

ロマンツアーコンサート 代表 小林 理彦  
(水産学部3年)

この度は私たちロマンツアーコンサートを第1回長崎大学ホームカミングデーに参加させて頂き誠に有難うございました。当会は長崎大学で初めての試みであり、当然のように行われるかが、見当がつきませんでした。当日は大勢の先輩方が足を運ばれ、このような栄誉ある

会に出演することに誇らしい気持ちが沸いてきました。今回は長崎大学の学歌などの数曲をお聞き頂きました。長崎大学学歌は長崎大学の方ならば必ずお耳にされたことだと思います。歌詞について少しふりますと、鎖国時代に長崎が外国文化の窓口だったことや、稲佐山をはじめとする山々に囲まれた自然に富んだ地であること、被爆地長崎の平和への思いなどが書かれています。お越し頂いた先輩方に、長崎大学の学歌を通して長崎で過ごした大学時代を思い出して頂けたなら幸いです。最後になりましたが、私たちの活動をサークル紹介というかたちで先輩方に発表できる機会を作っていました方々、特にお世話をいたいた全学同窓会支援室に厚くお詫申しあげます。先輩方のまたのお越しを心よりお待ちしております。

チアリーディング部 部長 亀井 千尋  
(教育学部2年)

こんにちは。長崎大学チアリーディング部です。先日は、ホームカミングデーに参加させて頂き、先輩方の前で演技を披露できましたこと、嬉しく思います。有難うございました。

私たちチアリーディング部は4年前に結成され、現役15人で活動しています。主な活動としては、「おくんち」や「わっか祭」などの地域のイベントが中心ですが、県民球団セイインツやヴィファーレンの応援も引き受けています。また、2009年の夏に行われた都市対抗野球で三菱重工長崎の応援団として、試合が行われた東京ドームまでチアリーダーとして参加させて頂き、私たちも年々経験を積み、成長しております。これからも沢山のイベントに参加させてもらい、応援をさせて頂くことで、チアリーダーとしてのスキルを身につけ、さらに磨きをかけた演技を皆さん前でご披露できることを楽しみにしております。長崎大学の益々の発展を願って。

よさこい部「突風」 桐畠 友香  
(環境科学部2年)

第1回長崎大学ホームカミングデーにお招き頂き、演舞させて頂きました事、大変光栄に思います。当日は多くの同窓生の方々から、温かい声援と拍手を頂き、熱く楽しく踊りきることが出来ました。また、演舞後には同窓生の先輩方と接する機会も頂きました、長崎大学の歴史や

功績など様々なお話を聞けたこと、大変嬉しく思いました。長崎大学の古く長い歴史の中で、変化してきた部分はたくさんあります。その中で変わらず受け継がれるべきことを受け継ぎ、後世に語り継ぐことが私たちの役目であると思います。その場として、ホームカミングデーは格好の機会がありましたし、長崎大学を知る良いきっかけにもなったと思います。また同窓生の方々に、現在のサークル活動や大学内の様子をお見せる機会になったこともよかったと思います。来年もご縁がありましたら、私たちの元気溢れる姿をお見せしたいと思っております。今後も長崎大学生として規律ある行動を心掛け、勉学やサークル活動にも力を注いでいきたいと思います。この度はお招きいただき有難うございました。